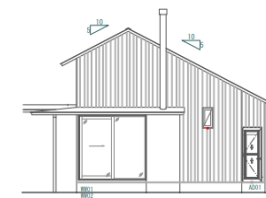
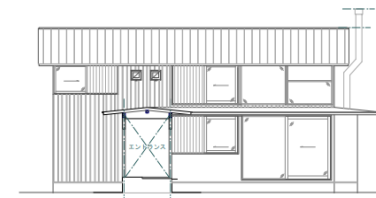


1階平面図 S=1/100

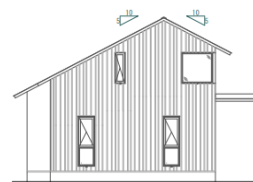
2階平面図 S=1/100



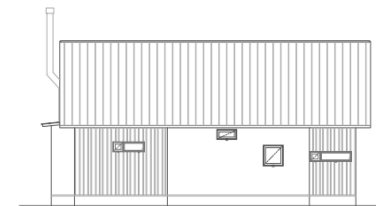
東側立面図 S=1/100



南側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100



北側立面図 S=1/100

木を楽しむ一棟貸しヴィラ

この建物は、山林の問題を解決し山林が起因となる土砂災害等から里山の生活を守るため【森の情報発信基地】として木材需要を喚起し、山林資源による里山活性化を目的とした施設に建築する1棟貸しのヴィラです。

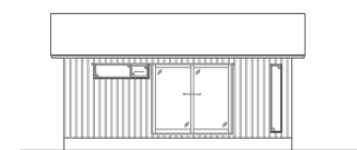
構造・下地・内外装・建具すべてに地元丹波産材の杉・桧を使用し、樹種や等級・見せ方を変化させる事で木の肌触りや表情・木のある暮らしの豊かさを伝えつつ、無垢材ならではの柔らかな質感と香り〜フイトンチッド〜により心身にリラックス効果を与えています。

また、多くの利用者が木そのものに触れる機会を持つ事で木材需要拡大のきっかけとなるよう、木質バイオマスエネルギー源とした暖房用薪ストーブやウッドボイラー給湯器・焚火掘りごたつを採用し、桧製サウナも薪ストーブタイプのヒーター仕様としています。

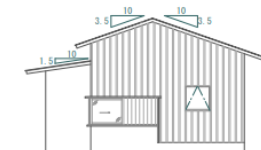
宿泊施設棟の外壁は働き幅の異なる杉板とする事で見た目に変化をもたらし、ジョイント部は押え縁として立体的にも変化のある仕上とし、デッキ棟の外壁杉板はヨロイ板とする事で宿泊棟とは異なる表情が楽しめます。内装は床・壁・天井共に杉と桧の違いや節の多寡・大きさの違いによる面白味を演出しました。

廃校となった小学校敷地のため、周辺集落の景観に溶け込むような連続性を持たせると共に、建物規模を小さく見せるために3棟の建物に不連続性を持たせたデザインとしています。

木質内装の内部空間・3棟の木質外装建物で囲まれたデッキの中間空間・丹波の山と森に囲まれた外部空間という木の入れ子構造を取り入れ、里山の趣きを活かした非日常空間を創造する事で、日本の山林や里山地域が持つ可能性とその魅力に気付いてもらい、里山の活性化に繋がる事を期待しています。



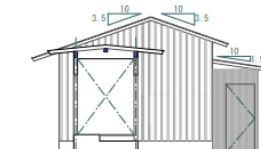
ゲスト棟 東側立面図 S=1/100



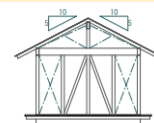
ゲスト棟 南側立面図 S=1/100



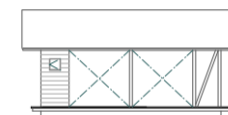
ゲスト棟 西側立面図 S=1/100



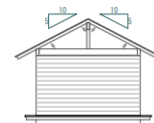
ゲスト棟 北側立面図 S=1/100



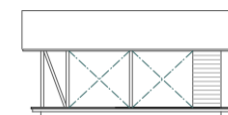
デッキ棟 東側立面図 S=1/100



デッキ棟 南側立面図 S=1/100



デッキ棟 西側立面図 S=1/100



デッキ棟 北側立面図 S=1/100

